小羽山

R６．１０．１．
小羽山小学校だより
第６２８号
小羽山小 HP

「どうしたら　できるか」を考える

　生きているといろいろな壁にぶつかってしまいます。「〇〇がないからできない」と、できない理由を探してしまうことがあります。青色発光ダイオード発明でノーベル物理学賞を受賞された中村修二さんは、人生で一番大切なキーワードとして、**「できない理由を探すな。どうしたらできるかを考えろ」**を挙げられています。

　今年度の全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。６年生対象で国語と算数の２教科が４月に実施され、出題形式は選択式・短答式・記述式でした。平均値で本校と県や全国と比較すると、国語は県・全国の平均を上回り、算数は県・全国の平均を下回る結果となりました。５年生の時と比べると、力を伸ばしています。生活面では、「朝食を毎日食べていない」子どもが県・全国より多いです。また、友達関係に満足している子どもが多いが、将来の夢や目標をもっている子どもが少ない傾向にあることも分かりました。

　「どうしたら解決できるか」「どうしたら身に付けることができるか」を考え、自分で自分の学習を調整していくことで、力を伸ばしていくことができます。その中で、既習内容の確かめや自分の考えを書きこむノートづくり、学びを深める問い等を重点に今後も子どもたちとともにがんばってまいります。ご家庭での**“早寝・早起き・朝ご飯”“家での学習環境づくり”**といったサポートをお願いいたします。

＜校内研究会公開授業＞

＜10月の主な学校行事等＞

1	火	修学旅行(６年)	17	木	学力定着状況確認問題(5年)
2	水	修学旅行(６年)　　すくすく	18	金	代表委員会　　お話の会(4-2)
3	木		19	土	
4	金	お話の会(4-1)	20	日	
5	土		21	月	
6	日		22	火	「昔の遊びを教えてあげよう」の会（１年）
7	月	委員会活動	23	水	習字教室(３年) ４校時授業(下校 13:00 頃)　　すくすく
8	火	畜産ふれあい体験(2 年)			
9	水	すくすく	24	木	宿泊学習(５年)
10	木		25	金	宿泊学習(５年)　　いじめ防止啓発講話(4年)
11	金	人権教育参観日	26	土	市長選前日準備
12	土		27	日	市長選　　すくすく
13	日		28	月	
14	月	スポーツの日	29	火	SC 来校（13:00～17:00）
15	火	SC 来校（13:00～17:00）	30	水	「昔の遊びを教えてあげよう」の会（１年）
16	水	学力定着状況確認問題(６年) 社会見学(１年)　　すくすく	31	木	桃中校区ボッチャ大会

メディアチャレンジ週間

小羽山小学校の教育活動に関するアンケート（前期）結果について

７月に実施しました学校評価アンケートではご協力をいただきありがとうございました。集計結果の分析・考察を以下にお示しします。

なお、集計結果（児童・保護者）や保護者の皆様からいただいた自由記述の詳細はホームページに掲載しておりますので、そちらも併せてご覧ください。

【R6 学校評価アンケート（前期） - 宇部市立小羽山小学校】 ☞
https://www.ube-ygc.ed.jp/oye/management/r6-1.html

【児童アンケート結果より】

全体の平均を見てみると、肯定的な評価（「よくあてはまる」＋「だいたいあてはまる」）が昨年１２月は８５．２％だったのに対し、今回の評価では８７．０％とわずかですが上がっています。また、設問別に見ても、昨年１２月から評価が上がっているのは１５問中１１問となっています。このことから、子どもたちは総じてよりよい学校生活を過ごしている、そして、自分たちの学校生活をさらによりよくしていこうと前向きに取り組んでいることがうかがえます。設問別に見ると、設問１５「ふるさと小羽山」が好きである」では肯定的な評価が９０％を超え、その中でも「よくあてはまる」と評価した子どもが約７０％となっており、全設問の中でも最も高くなっています。学校生活の中で地域のヒト・モノ・コトを生かした学習支援や地域学習が積極的に展開されている他、登下校の見守りや学習支援などボランティアの方々がさまざまな形で子どもたちとかかわってくださっていることが好影響を及ぼしているものと考えます。

評価が低いのは、昨年同様、「読書」【設問５】と「地域行事への参加」【設問１４】ですが、先に述べたように昨年１２月と比較してみるとどちらも微増しています。今後もさまざまなヒトたちとつながりながら課題解決の取組を進めていきたいと思います。一方、昨年１２月と比較して評価が下がっているのは、「きまりやマナー」に関する【設問７】、「思いやり」に関する【設問８】、「あいさつ」に関する【設問１３】です。桃山中学校区共通の取組であるあいさつ運動などが形骸化していないか、取組の輪を拡げる手だてはないか、など改善に努めていく必要があります。

【保護者アンケート結果より】

こちらも肯定的な評価が昨年１２月は７２．９％だったのに対し、今回の評価では７４．５％と上がっています（全１６問中１２問）。笑顔で学校に通うお子様の姿を見て高評価をつけていただいているのではないかと思われます。

気になるのは言動に関する設問８で、子ども・保護者とも昨年１２月に比べて評価が下がっています。他者とコミュニケーションをするうえで大切なものの一つである「言葉」について、教職員・保護者など大人も子どもたちと一緒に見つめ直し、人と人が笑顔でつながりあえるような言葉があふれる学校づくり・地域づくりをめざしていきたいと思います。また、子どもの評価は上がっているのに保護者の評価が下がっていたのはメディアとのかかわりに関する設問６です。学校でもメディアコントロールの取組について改善を図りながら進めていますが、子どもと保護者が一緒にメディアコントロールについて考えていくことが大切ですので、そのような機会をつくっていきたいと思います。

【保護者アンケート自由記述について（一部）】 ※ ○…家庭からのご意見 ◆…学校としての考え方

○ 水泳の時期をもう少し後にしてほしい。夏休み以降も水泳学習をさせてほしい。

◆ ８月下旬はたとえプールサイドやプールの中でも熱中症になる危険性も考えられます。また、夏休みをはさんで１・２学期に水泳学習を実施するとなると、夏休み中にプールの水質等を維持管理していく必要も生じますので、実施は難しいと考えます。

○ 学校ホームページでも毎月の行事と下刻時間のプリントが拝見できると、外出先(病院、会社など)でも確認できるので助かる。

◆ 学校ホームページは不特定多数の方が閲覧できますので、登下校の安全管理上、下校時刻を掲載することはできません。しかし、さくら連絡網や sigfy であれば特定の方へのみ配信可能ですので、データをお送りすることを検討いたします。毎月の行事は、学校ホームページに掲載しています（トップページ→学校の紹介→行事予定）。

○ 年間の行事予定を４月に配ることはできないだろうか。

◆ 毎年、ＰＴＡ総会資料（４月下旬～５月下旬配布）に年間行事予定を添付していますが、学校ホームページやさまざまな手段でお伝えしていきたいと思います。